



ほうき 議会だより

第76号

2024年
1月発行



門松作り(文化センター)

おもな内容

- 12月定例会の流れを議案とともにご紹介 …………… 2～3ページ
- 主な議案の採決結果、請願・陳情 …………… 4ページ
- 全員協議会 …………… 5ページ
- 町政に関する要望 …………… 6～7ページ
- 町民と語る会 …………… 8ページ
- 委員会活動報告 …………… 9～10ページ
- 議会改革特別委員会、新監査委員・議員の辞職について、追悼のことば …………… 11ページ
- 一般質問 …………… 12～19ページ
- 議会の虫めがね 編集後記 …………… 20ページ

人の動き

	令和6年1月1日現在	前年同月比
人口	10,297人	△123人
(男)	4,939人	△70人
(女)	5,358人	△53人
世帯数	3,861世帯	△10世帯

伯耆町議会

検索



会の流れ

POINT & CHECK



STEP
01

12月1日
開催

全員協議会

町長をはじめ、副町長、教育長、課長等が一堂に会し、執行部から補正予算、条例改正などの提案説明。その他、報告事項等も行われる。

議案番号 68～80号
(抜粋)

- 伯耆町価格高騰重点支援給付金支給事業 6,800万円
- 個人番号法対策事業 836万円
- ゆうあいパル管理事業(光熱水費) 682万円
- 特別医療費支給事業 800万円
- 障害児通所支援サービス費支給事業 715万円
- スマート農業社会実装促進事業 281万円
- 伯耆町新型コロナ・円安・物価高騰対策
支援補助事業 674万円
- 岸本小学校管理事業 400万円
- 各小中学校管理事業(光熱水費) 398万円
- 総合スポーツ公園広場周辺歩道改修事業 453万円
- 農地補助災害復旧事業 290万円

本会議 初日

STEP
02

12月6日
開催

町長からの提案説明

各議案毎に提案説明があり、委員会へ議案の付託が行われる。



12月定例

QUESTION & ANSWER

STEP
03

12月7日
開催



予算決算等常任委員会

全議員で構成されている委員会。提出された議案について、担当課ごとに内容を確認し、賛否を決定する。

議会の視点

(一部抜粋)

○ゆうあいパル管理事業（光熱水費）
◎光熱水費の上昇で、太陽光発電の検討は無い。

◎障害児通所支援サービス費支給事業
◎障害児通所支援サービスだが、保育士の訪問支援の内容は。保育所等訪問支援で保育所や小学校に専門家が出向き、対象の子どもの観察をして支援方法のアドバイス等を行う。

◎岸本小学校管理事業
◎特別支援児童の増加で、教員の人数も増えるか。
◎県基準は8人以上で2クラス。岸本小学校は6名から11名になり、2クラスで教員は1名の増。

◎総合スポーツ公園広場周辺歩道改修事業
◎改修を補正予算ですべき理由は
◎トイレ改修が年内に終わる見込みとなり、トイレ前のゴムマット部分の剥離などの改修を前倒しした。冬場に工事をしたら利用者に迷惑が掛からない。

◎農業用施設補助災害復旧事業
◎農業用施設補助災害復旧費かなりの減額となった。その理由は。
◎所有者との意見調整をした結果である。ハウスを露地栽培に変更したり、施設管理や維持費を検討した結果である。

◎農業用施設補助災害復旧事業
◎農業用施設補助災害復旧費かなりの減額となった。その理由は。
◎所有者との意見調整をした結果である。ハウスを露地栽培に変更したり、施設管理や維持費を検討した結果である。

討論採決の結果は、
4ページに掲載



本会議
最終日

STEP
04

12月13日
開催

議案ごとに討論採決

予算決算等常任委員会の付託案件や付託のない議案の採決が行われる。

本会議 討論・採決

STEP
05

12月13日

開催

議案等に対する各議員の賛否（令和5年12月定例会）（○賛成 ×反対）

議案番号	件名	議員名（議席番号順）											
		大床 桂介	上田 博文	片岡 千明	長谷川 満	杉本 大介	乾 裕	永井 欣也	一橋 信介	渡部 勇	幅田 千富美	大森 英一	勝部 俊徳
68	伯耆町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
69	伯耆町子ども・子育て会議条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
70	監査委員の選任について（渡部 勇氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
71	伯耆町教育委員会委員の任命について（藤原 美枝氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
72	伯耆町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
73	伯耆町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
74	伯耆町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
75	伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について（スマイルドーム大山望）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
76	伯耆町公の施設に係る指定管理者の指定について（別所川溪流植物園ほか2施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
77	令和5年度伯耆町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
78	令和5年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
79	令和5年度伯耆町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
80	令和5年度伯耆町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
81	伯耆町手数料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

請願・陳情に対する各議員の賛否（令和5年12月定例会）

陳情番号	件名	結果	議員名（議席番号順）											
			大床 桂介	上田 博文	片岡 千明	長谷川 満	杉本 大介	乾 裕	永井 欣也	一橋 信介	渡部 勇	幅田 千富美	大森 英一	勝部 俊徳
陳情第12号	「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による賃金引上げを求める意見書」の提出を求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情第13号	町民岸本グランド ナイター設備設置に関する陳情	継続審査												

（※）勝部俊徳議員は議長のため採決に参加していない。

みんなが知りたい 全員協議会

全員協議会は12月1日、12月6日、12月12日に開催しました。
その内容は、次のとおりです。

●伯耆町教育委員会委員の 選任について

- ・藤原 美枝氏（上野）
- ・任期は令和6年2月18日から4年間

●職員の給与に関する条例の 一部改正について

令和5年8月の人事院勧告等に
より、所要の改正

〈概要〉

- ・給料表を平均1.1%引き上げ
- ・一般職
- ・期末手当
- ・勤勉手当
- ・それぞれ0.05月引き上げ
- ・再任用職員
- ・期末手当
- ・勤勉手当
- ・それぞれ0.025月引き上げ

●会計年度任用職員の給与及び費 用弁償に関する条例の一部改正 について

令和5年8月の人事院勧告等
により、所要の改正

〈概要〉

- ・給料表を5.2%引き上げ
- ①期末手当0.05月引き上げ
- ②勤勉手当2.05月の支給
- ①については令和6年1月1日から
- ②については令和6年4月1日から

●伯耆町国民健康保険税条例の 一部改正について

地方税法等の改正に伴い、子
育て世代の経済的負担軽減及び
次世代育成支援などを進める観
点から、出産する予定の被保険
者及び出産した被保険者に係る
産前産後期間の所得割及び均等
割額の免除措置を導入するため
の規定を整備。

〈概要〉

- ・国民健康保険税の所得割額及び
均等割額を免除する。
- ・単胎妊娠…4か月間
- ・多胎妊娠…6か月間

●旧灰溶融施設（エコスラグセン ター）の今後の方針について（報 告）

令和5年11月6日開催の鳥取県
西部広域行政管理組合正副管理者
会において決定

〈今後の方針〉

建物及び施設は解体撤去し、更
地とした上で土地の売却等を行
う。

〈今後の予定〉

- ・令和6年度 解体設計業務委
託、土壌汚染状況調査業務委託
- ・令和7、8年度 施設の解体工
事、土地の不動産鑑定評価
- ・令和8年度 解体工事完了後、
更地となった土地の売却等



旧灰溶融施設（エコスラグセンター）

●令和5年度伯耆町職員採用試験 結果について（報告）

- ・保育士2名
- ・一般事務3名
- ※令和6年4月1日採用予定

●伯耆町の公の施設に係る指定管 理者の候補者の選定

- ①伯耆町ふれあい交流ターミナル
（通称…スマイルドーム大山望）
・管理者 エムケイ開発株式会社
・期間 令和6年4月1日から
5年間
- ・管理料 8,768千円/年

- ②伯耆町別所川溪流植物園ほか
2施設（伯耆町丸山ふれあい
の森、交流の森）
・管理者 丸山生産森林組合 岸
本ガーデンクラブまちづくり
協議会 伯耆町地域振興株式
会社

- ・期間 令和6年4月1日から
3年間
- ・管理料 4,970千円/年

●伯耆町議会常任委員会委員の 変更

教育民生常任委員7人から6人
へ、総務経済常任委員5人から6
人に変更 大床桂介委員が総務経
済常任委員会に異動

町政に関する要望

予算決算等常任委員会で審議し、町に要望しました。

① 空き家の適正課税

要望 改正空き家対策特別措置法による「管理不全空き家」となる可能性のある物件の把握並びにこのような空き家にならないよう指導し、地域環境の保全とともに、税の適正な課税執行を図るよう。

回答 問題意識は非常にある。法改正が今回あり、特定空き家化する前段の対応が決定された。家屋の管理責任が所有者にあることを前提に責任を果たしていただく。

持ち主責任、管理義務、法の流れをしっかりと当事者に説明する。広報、区長からの相談ケースに際し、当事者に対し流れを知ってもらう啓発を行う。



② ホームページ改良 (A1)

要望 行政情報のアクセスしやすさの向上のためのホームページ改良について、「対話型A1」の導入と「Q&A」の掲載を検討されたい。

回答 検討する。成果、課題について、実施されている団体を調査しどの分野での導入が効果的か研究する。



③ 公民館のフリースポット

要望 集落公民館へのフリースポット設置 (Wi-Fi 環境整備) の支援を図りたい。

回答 可能。ランニングコストについて、自治会での合意形成が必要。

来年度の集落補助に入れられるかどうかは予算編成で検討。



④ 防災無線の文字化配信

要望 防災無線の情報を文字化して同時配信の検討をされたい。

回答 やり方を検討する。ホームページだけでなく、手元に届けるためには登録も必要であり、町民が使用している SNS を利用するにはリスクもある。



⑤ 連結道路の新設

要望 ふたば保育所から岸本町民体育館に至る連結道路を新設されたい。

回答 中学校から伯耆橋まではかなり渋滞があり郵便局前も渋滞する。連結道路があると便利になり、宅地供給の可能性も出てくる。メリットを認識して検討しているが、抜け道になると小学校、中学校、保育所があるほか、岸本駅前集落内に車が入ってくるようになるため、安全装置の検討が必要であり、まだ事業化できていない。違うルートも検討したい。事業化は難しい。



⑥ 町道補助基準の見直し

要望 町道改良事業の幅員4.0m未満の補助率及び対象事業費の上限額の見直しなどの補助基準を4.0m以上のものの補助率等と同等とされたい。

回答 来年度から実施は可能。資材価格の高騰もあり予算措置の準備をする。



⑦ いじめの対処方法

要望 犯罪に相当するいじめが起きた場合、学校や教育委員会だけで対処するのではなく、速やかに警察に相談、通報をして対応されたい。

また、学校や教育委員会は、警察の学校への介入などは、教育の放棄などとは理解しないで、犯罪であるという事実を目を向けて厳然と対処されたい。

回答 制度的には、通報するよう県教育委員会が方針を出し、本町も方針を出している。今年2月に文科省から警察等の連携の徹底の通知があり、各学校に通知を出した。それ以外に元警察職員を中心に、スクールサポーターになっていただいております。定期的に情報収集を行ったり、学校の状況を見てもらっています。学校・警察連絡通報制度も定められており、黒坂署との連携も図っている。



⑧ SNSの広告配信

要望 植田正治写真美術館のSNSを活用した広告配信を検討されたい。

回答 SNSについては実施しているが、今後検討する。



町民と語る会

総務経済常任委員会

○令和5年11月1日(水)
開催

○出席者

(伯耆町商工会)

足尾賢二会長ほか4名

(総務経済常任委員会)

杉本大介委員長ほか4名

●伯耆町商工会の現状

今年度は、会員数は168名、加入率60%。

●新型コロナウイルスの影響と今後の課題は

国・県・町補助金の利用者は多くあったが自動車業界はコロナ禍の影響は残っている。

●物価高騰、原油価格高騰の影響は

物価高騰の状況を説明した上で価格の値上げをせざるを得なかった。一方で賃金アップや価格転嫁しにくい業種もある。

●インボイス制度導入の影響は

今のところあまり影響

は少ないが、決算時の事務的処理に負担が多くなる恐れがあり、不満の声を聞いている。

●商工会からの意見・要望

・町内の観光地での入込み客データがあれば提供してほしい。

・物価高騰により花火の打上げが減少している。補助金の増額をしてほしい。

・空き店舗や空き家情報が得られるシステムを構築してほしい。

・商工会青年部の人数が減り、商工会が主体となつて、夏祭りなどのイベント開催が難しくなっている。



伯耆町商工会との開催

教育民生常任委員会

○令和5年11月1日(水)
開催

○出席者

(教育委員)

箕浦教育長ほか4名

(教育民生常任委員会)

長谷川満委員長ほか5名

●生徒・児童数の減少を踏まえた学校の現状

現在、伯耆町は充実した教育ができています。また、充実した教育活動、教育行政ができています。

●生徒数について(新入生)

・岸本小学校は増える傾向にある。八郷小学校では減少する傾向にあったが、令和6年で若干、増加する見込みである。

・溝口中学校は浮き沈みがあるが、26〜35人で推移している。溝口小学校は減少傾向にある。二部小学校では2〜3人で推移している。

●学校運営における学校・家庭・地域の連携の推進について

伯耆町教育がめざす人間像を実現するために、同じ目標をもとに家庭、地域、学校との連携を進めている。これまでに「てごネット」を充実させ、保育所での学習支援、環境整備、職場体験などを行ってきた。今年度から新たな取り組みとして、学校・保育所が地域に貢献していく「ゆめネット」を充実させるように体制づくりに力をいれている。

●教育行政に対する要望

・先生方の人材確保である。いい先生方を集めることに尽きる。しっかり伯耆町の教育にあたる意欲のある教師を望んでいる。

・高校生に対する支援があってもよいのでは。

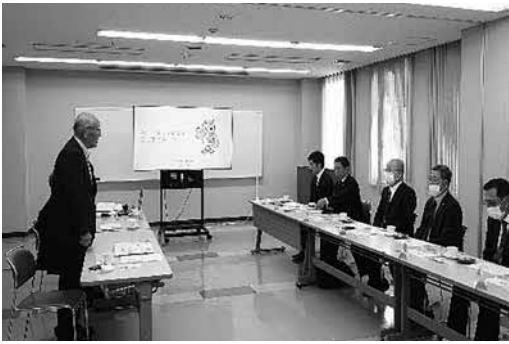
総務経済常任委員会行政調査報告

調査委員… 杉本 大介 上田 博文 大森 英一
渡部 勇 一橋 信介 乾 さとみ (事務局)

広島県 坂町

・人口 12678人
・世帯数 5767世帯
・一般会計予算 68.5億円

- (1)調査日 令和5年10月23日
 - (2)調査項目 移住・定住支援事業及び空家対策事業について
 - (3)調査の概要
- 三世代同居・近居住宅支援事業
子育て世帯が三世代での同



川本坂町議長歓迎のあいさつを受ける常任委員

居・近居(同一小学校区内または1km圏内での同居)するため
の住宅取得や増改築に支援。
新築購入: 町外転入は200万円、町内転居100万円

○子育て世帯引越支援事業
町外転入または町内転居する
子育て世帯に、引越費用の一部
を支援。

○子育て支援住宅の整備
子育て世帯が暮らせる住宅を
整備し、併設して認定こども園
や支援センターを設置。

○空き家対策
町内の不動産業者と連携し、
「空き家活用支援窓口」を設置。
また「空き家バンク制度」は、
町は空き家所有者と利用希望者
との橋渡しを行い、物件の交渉、
契約は宅建業者が行う。

○空き家活用事業
空き家所有者や町外転入者が
行う空き家解体、改修、家財道具
等の処分の一部を助成。

福岡県 香春町

・人口 10575人
・世帯数 5446世帯
・一般会計予算 70.8億円

- (1)調査日 令和5年10月24日
 - (2)調査項目 地域資源を活用した移住、定住事業等の取り組み
 - (3)調査の概要
- 「地域おこし協力隊」
地域社会の新たな担い手とし
て、平成28年から「地域おこし
協力隊」を受け入れ。
- 町の積極的なサポートのもと、
協力隊を退任した7人全員が、
町に定住し、「香春町移住・空



香春町での調査状況

き家相談室等で町の移住や空き
家対策のコーディネーターとし
て活躍中。

- 主な移住支援事業
- ・移住支援金
- ・お試し滞在補助金
- ・空き家、空き地情報バンク
- ・空き家リフォーム補助事業

●調査のまとめ

広島県坂町は、子育て世代
及び三世代同居の支援などに
よる移住定住施策、また福岡
県香春町では、地域おこし協
力隊の積極的な受け入れを行
い、移住定住に結びつけるな
ど成果を上げている。

両町とも、「新しい人の流
れをつくる」という移住定住
施策を進めるかたわら、空き
家を移住者の受け入れの場と
して捉え、空き家バンク制度
を設置し、空き家調査、情報
収集を行い、空き家の利活用
に積極的に取り組んでいる。
本町においても、移住定住
施策をどのように取り組んで
いくのか、また近年、深刻な
問題となってきた空き家対策
について、両町の取り組みは、
おおいに参考になると考える。

教育民生常任委員会行政調査

調査委員… 長谷川 満 片岡 千明 幅田 千富美 勝部 俊徳
永井 欣也 乾 裕 大床 桂介

香川県 小豆島町

・人口 13105人
・世帯数 6023世帯

【日時】令和5年11月13日（月）
【調査項目】小豆島町すくすく子育て応援ア
クションプランを軸とする子育
て支援について

・魅力ある町の発信

自然を生かした教育・保育の
推進
田植え、野菜づくりなどの農
業体験
秋祭り等の伝統文化の伝承

・地域による子育て応援

老人会や地域の人に見守って
もらいながら、子育て支援を
行う
誕生日、入学等節目にオリ
ブの苗を贈る

・子育てしやすい環境づくり

小豆島町の奨学金制度（月額
5万円帰町後、郡内事業所に



小豆島町での調査状況

●調査のまとめ

島特有の環境のもと、人口
流出に、ある程度の歯止めを
かけている小豆島町を視察し、
本町でも幼児期からの教育等
を今一度考え、併せてさらな
る子育て支援施策等を早急に
講じる必要があると感じた。

・5年間就業した時返済免除）
第3子は、保育料無料
高校卒業まで、医療費助成
小豆島中央高校への通学定期代
の一部助成（島内に1校）
・奨学金の財源は、一般財源
貸付人数は、該当者の35%、帰
町人数は、20%～30%

香川県 多度津町

・人口 21306人
・世帯数 9332世帯

【日時】令和5年11月14日（火）

【調査項目】

タウンプロモーション戦略について
・タウンプロモーション事業の
目的

多度津町の魅力を発信し、交
流人口の増加、移住人口の増
加を目指すまた、人々の往来
により、少子高齢化に伴い活
力が薄れつつある地域に活力
を与える。

・まねきねこ課の活動

タウンプロモーション事業を
進めていくための官民協働組
織
民間からのメンバーと町職員
有志で構成し、町からの補助
金で運営

・シビックプライド（郷土愛）の

醸成の方策や成果等について
多度津町の取り組みに参加す
る人や、ファン、関係人口が
増え、町民のシビックプライ
ドが醸成されている。

・コミュニティ通貨まちのコイン

「ぶっこいん」について
主目的は、経済の活性化で
はなく、つながりづくり
人口減少、少子高齢化によ



多度津町での調査状況

●調査のまとめ

全国的にタウンプロモ
ーション事業の実施により、地
域経済の活性化につながる活
動が展開されているが、シ
ビックプライドの醸成と住民
が理解するための仕組みづく
りが課題だと感じた。

また、地域通貨については、
自治体は限られるが、全国で
使用できるようになり、交流
人口の増加につながる可能性
が出てきたように感じた。

る地域力の低下の解決や、地域
コミュニティの回復を促進する
ためには、町内外のつながり強
化、関係人口を創出する仕組み
づくりが必要と考え導入

議会改革調査特別委員会

○伯耆町長期欠席議員の議員報酬等の特例に関する条例（案）について

- ・9月27日・10月11日分科会により検討される。
- ・12月11日分科会報告を受け、本委員会で作成
- ・今後、パブリックコメントを聴取し成案を得る。

新監査委員について

○監査委員の細田栄氏が逝去されたことに伴い、議会選出監査委員の選任について



渡部 勇

新監査委員 渡部 勇氏
任期 令和5年12月13日から
令和7年4月30日まで

議員の辞職について



杉原 良仁

さる12月6日、杉原良仁議員から議長に対し、一身上の都合による辞職願が提出され、同日の本会議において許可議決されました。また、このあと杉原議員から、健康上の理由で任期途中に辞職する旨のあいさつがありました。

2名の欠員により、現議員数は12名となりましたが、議員定数の1/6を超える欠員の要件は満たしていないため、補欠選挙は行われません。

追悼のことば（抜粋）

細田さん、こんなにも早いお別れになるとは誰も思っていませんでした。あなたの突然の訃報に接し、伯耆町議会議員一同、言いようのない寂しさと悲しみと無念さでいっぱいあります。

誠実で温厚なお人柄と行動力あふれるあなたは、地域で、そして議会で常に多くの皆様からの信頼を集め、伯耆町議会の活性化並びに伯耆町発展のため、そのもてる経験と英知、そして、その誠意あるお人柄をもって、ご尽力を賜りました。

議長時代には、これまでに伯耆町議会にはなかった新しい考え方の「予算決算等常任委員会」を新設し、予算並びに決算等の審議を的確に効率的に運用する仕組みを作ることにご尽力をいただき、今日では、町執行部からもこの仕組みについて、高く評価をいただくことができました。

残念ながらそのあなたのお姿は、もう、この議場で見ることはできません。残された私も議員は、細田元議長が伯耆町を愛し、伯耆町の限らない発展に心血を注がれたご遺志をしっかりと受け継いでいる所存であります。

また、在りし日のあなたの議場でのお姿を偲びつつ、町と町民の皆様とともに手を携えて、町勢発展のため、議会人として一層精進をすることをお誓い申し上げます。終わりに、ここに心から細田元議長の安らかな永久の眠りをお祈り申し上げます。追悼のことばとさせていただきます。

令和五年十二月六日

伯耆町議会代表 伯耆町議会議長 勝部 俊徳



一般質問 町政を問う!

一般質問とは、議員が町長等(執行機関)に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。





7人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

令和5年12月6日 開催

ページ	主な質問事項	質問議員
13	・「安心・安全なまちづくり」について ・再生可能エネルギー事業者を規制する事例について	おおもり 英一 
14	・持続可能地域とするための諸課題について ・英語教育の取り組みについて	ながい 欣也 
15	・物価高騰対策と賃上げについて ・Aコープ溝口店閉店後の対策について ほか	はばたち 富美 
16	・教員の長時間労働是正について ・教職員による児童生徒への性暴力は	わたなべ 勇 
17	・和牛子牛価格の下落で町独自の支援策の実施を求める ・英検受験補助金で高校生も対象とするよう求める ほか	いぬい 裕 
18	・健康意識・運動意欲の醸成と今後の展開	すぎもと 大介 
19	・空き家対策について	うえだ 博文 

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるYouTubeの二次元バーコードはこちらです。



アウトテイング行為 対策が必要

町長 法務省の動向と連携し 抑止に繋げる

抑止に繋げる



おもり 大森 議員
えいち 英一 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 「アウトテイング」の禁止自治体が増えているが、伯耆町も必要では。

答 町長 人権侵害事案の増加は憂慮すべき事態。国や県の激論で、禁止条例が可能か、実効性などは、限界を感じる。法務省は、体制強化で現実的な対応をしている。町は、法務省と連携を強め、抑止に繋げる対応は可能。

全国町村会は、人権侵害対策を講じる決議、要望をしている。

問 アウトテイング行為は対面ネット環境下で起こるが、教育長の認識は。

答 教育長 本人が公表してない個人情報第三者が勝手に曝露する行為は対面

ネットとも強い精神的な苦痛を与え、プライバシーに関わる重大な人権侵害、差別行為。誹謗中傷も含め、決して許されない。

問 本町の法体系で各種アウトテイング事象に対応ができるか。対策が急務。



伯耆町人権フォーラム2023

答 教育長 本町の人権条例の第6条により、人権教

育啓発活動の充実に努める。アウトテイング事象には、鳥取地方法務局の米子支局の民事専門官につないで解決を図っていく。

再生エネルギー事業者を規制する事例について

問 宮城県の再生エネ新税が報道された。本町の再生エネ事業計画もあり、仮に鳥取県でも課税となった場合、本町への影響は。

答 町長 宮城県の税条例は、森林機能の損失など、環境への影響を提言し、その立地をリスク減少へと誘導し、事業の廃止の事例も含め、抑止的な内容。鳥取県でも可能性はあるが、賛否のかじ取りが難しい上、政治的なリスク、社会的なリスク

がある。課税の質問だが、背景自体が異なり、当てはめるのは妥当ではなく、答えが難しい。

問 県議会で平井知事は、再生エネ関連事業法の欠陥を指摘。計画中の町内関連事業が30年続いた場合、直接、間接に本町の経費、負担の発生は。

答 町長 経費、負担は、電気事業法、フィット法による許認可権限が無く、権限がない以上負担はないというのが一般的な理解。

問 環境保全に関し、現法で十分リスクの回避ができるか。

答 町長 基礎自治体で万全は難しい。ただ、法務省などのパブリックコメントを広く出すことができる。県は森林法とか盛土法条例などがある。法令等を厳格に運用することでリスクを低減、回避は可能。町の権限は無いが、開発指導要綱を皆さんと共有し、事業者に対する指導は一定程度可能。

アウトテイング

本人から了解を得ずに、性的指向や性自認を第三者が公に暴露すること、秘密を言い広めること

本町の少子化対策の方向性は

町長 生活利便性が高く

総合力がある町を作っている



ながい きんや 議員
永井 欣也



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 全国町村大会が開催され、かけがえのない農山漁村を次世代に引き継ぐことが我々の責務であるとし、その決議で少子化への相当な危機感が掲げられた。本町の少子化対策の方向性を伺う。

答 町長 町村会の共通認識。本町は基礎インフラのメンテナンスがしっかりしているとか、生活利便性が高く、総合



休園中の二部保育所

力がある地域を作っている自負がある。

問 地域公共交通、コミュニケーションバス等の維持・確保に関する国の政策変化の動向について伺う。

答 町長 全町村で、日を追って危機感が強まっている。本町ではデマンドバス、スクーリングの一体運行を確保。人員を含め運行支援の維持が最大の目標。

問 再生可能エネルギーの立地にあたって、事業者の地元住民への説明責任、事業終了時の地元負担について伺う。

答 町長 立地では各種の法規制がある。事業終了後

の対策はあまり取り上げられていない。国に解体等の積立金制度の円滑な運用・実施に万全な措置を要望している。

英語教育の取り組みについて

問 令和4年度「英語教育実施状況調査」の結果では、鳥取県は全国46位。「全国学力・学習調査」の結果を踏まえ、本町での評価について伺う。

答 教育長 同時期に本町実施の標準学力調査や4技能型英検I B Aテストからは良好な結果が出ている。ただ、読むこと、書くこと、言語活動の質に課題がある。

問 A L T 配置に I C T やタブレット端末が活用できる環境にあるが、課題と今後の取り組みを伺う。

答 教育長 中学校の A L T を小学校に派遣。タブレットの活用は、I C T 支援員もいて4技能のバランスをとってトレーニングを繰り返す。



授業風景

問 国語力は全ての学習の基盤。英語を勉強するうえでの関係性について伺う。

答 教育長 全ての学習の基盤であることは経験上、実感する。「全国学力・学習調査」では、本町の国語力は高い結果だったが、英語では特定の技能や言語活動のトレーニング不足から結果に結びつかず。国語力向上のため、授業以外の活動も継続。

物価高騰対策と 賃上げが必要

町長 これまで

繰り返し対応済み



はばた ちふみ 議員
幅田 千富美



ユーチューブ
動画は
こちらから

問

9月議会で物価高騰対策と賃上げが必要との監査意見があげられた。以下、①米、酪農、畜産等の農家支援②貧困家庭への直接支援と全世帯へのガソリン券支給③会計年度任用職員の賃上げと処遇改善④高齢者への補聴器助成制度創設⑤国保税の子供の均等割り無料化⑥学校給食費、教材費、入学支援金助成の拡大について、町長、教育長に伺う。

答

町長 ①今年度当初から対応し、今回も補正で提案している。②ガソリン券は12月から支給を始めている。③人事院勧告により、条例改正を提案している。④厚生労働省のエビデンスが得られていない。⑤全国町村会で国に提言している。

答

教育長 ⑥考えていない。要保護、準要保護で対応する。



高騰する物価

Aコープ溝口店閉店後の
対策について

問

令和5年6月定例会答弁後の西部農協との協議状況、さらに閉店後の対策について以下①西部農協との協議はあったか②二部、日光地域の買物支援は③Aコープ販売野菜農家の支援は④従業員の就労支援はについて伺う。

答

町長 ①丸合と基本合意している。

答

企画課長 ②デマンドパスの利便性向上を図る。③、④野菜農家と就労支援は、西部農協で対応中。

西部広域廃棄物処理計画
問題について

問

西部広域廃棄物処理計画に関連し、旧灰溶融施設

エコスラグセンターの2025年に解体撤去着手予定だが、更地活用についてダイオキシン対策と解体撤去計画の住民説明会はあるか。また、更地活用計画はあるか。

答

町長 説明会開催は、同組合に要請する。更地活用計画については、具体性がある形での提案はない。まず、撤去が先決。

問

同組合が設置する意見調整委員会の構成内容と権限は。

答

地域整備課長 構成は弁護士2名、各学識経験者3名。所掌事務は、彦名地区自治会連合会と同組合との相互理解、両者に対して意見を述べるもの。

問

改めて広域処理を見直す
べきではないか。

答

町長 必要な整備である。

教員の長時間労働是正を

教育長

さまざまな働き方改革の

取り組みを進めている



わたなべ いさむ 渡部 勇 議員



ユーチューブ
動画は
こちらから

る校長会を通じて、各学校で行っている。また特別な指導を実施している。全ての学校の教職員を対象に文科省・県教委が策定した資料などを活用して確実に教職員に指導している。

問 伯耆町の各小・中学校のスクールサポートスタッフ（教員業務支援員）と学習指導員の現状は。

答 教育長 教員業務支援員は小学校4校で1名配置している。また、学習指導員としてはなく特別支援学級支援員として、各中学校に2名配置している。

問 教員の勤務間インターバル（一定時間の休憩）導入の検討は。

答 教育長 勤務間インターバル制度は任命権者である鳥取県教育委員会が検討すること、本町では決めることが出来ない制度である。

問 保護者の過激な要求に関しては学校が組織的に対応する必要があると考えるが、教育委員会としての支援体制は。

答 教育長 問題を解決するために、校内委員会を組織し、複数のメンバーでチームとして対応している。

問 授業以外の業務を支えるスタッフの大幅拡充をしないか。

答 教育長 町独自の学習支援員を多数配置しているので、大幅拡充は考えていない。

問 スクールサポートスタッフ（教員業務支援員）及び学習指導員に従事するために資

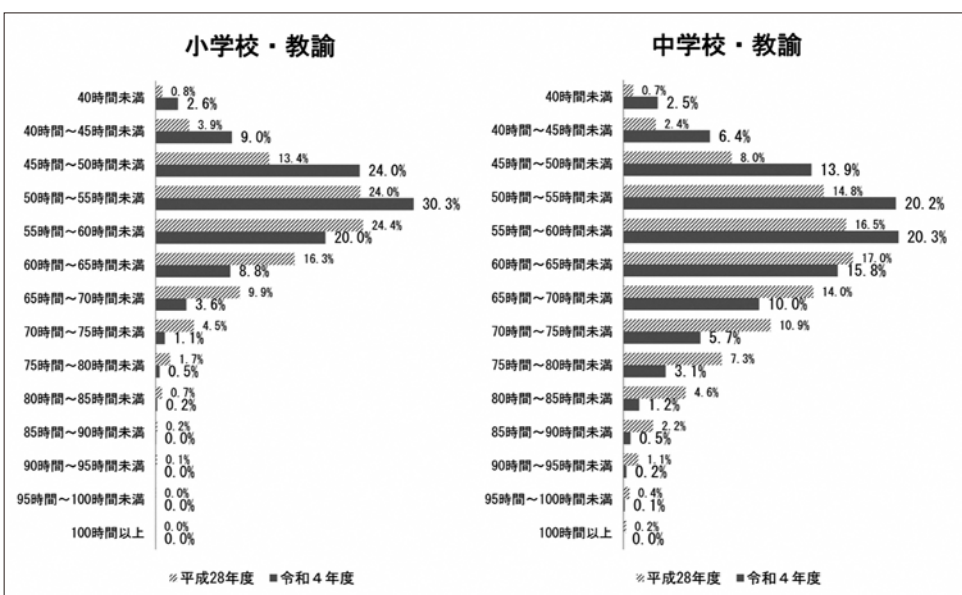
格・経験は何か必要か。

答 教育長 鳥取県の場合には非常勤講師で、普通の先生として教員免許があればよい。

教職員による児童生徒への性暴力は

問 伯耆町の教育委員会の対応と教職員の研修の取り組み・実施状況は。

答 教育長 コンプライアンスの遵守について以前から毎月開催してい



教員勤務実態調査(令和4年度) 1週間の総在校等時間の分布(教諭)

和牛子牛価格の下落で 町独自の支援策を

町長 価格補填ではなく

経費支援を行っている



いぬい ゆたか 議員
乾 裕



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 今回の一般会計補正予算では、県が和牛農家の出荷経費の一部支援を実施することから、本町も同様に支援を行う予算を提案されている。これに加えて、子牛価格の減少分についての支援を実施する考えはないか。

答 町長 その考えはない。補正予算では県事業への上乘せや、農家の負担が大きい共済、農業経営収入保険料等緊急支援予算の増額など「価格補填」ではなく「経費支援」を行っている。

問 優良雌牛の自家保留や増頭分への補助額の増額は。

答 町長 県制度と連動しているものについては制度変更が行われればそれに伴った対応は当然出てくると思う。

英検受験の補助金で高校生も対象としないか

問 児童・生徒の学力向上のための英検受験補助金(全

額補助)の実施要項の見直しで、町内高校生も対象に加えるべきでは。

答 教育長 町内児童・生徒の英語教育は重要。県教委・高等学校課の目標は英検準2級以上の学力を有する高校3年生を50%以上としており高等学校を管轄する県教委等の役割と考える。今、高校生は「英検」より「TOEIC」を求める声もあり、今後県教委と協議していく。

町内公共施設のAEDのケースの中に三角巾等の配備をしようか

問 三角巾は傷病者が女性の場合では胸部にかぶせることでプライバシーに配慮しながら処置することができ。また、負傷者の止血や手足を固定するアイテムとしても利用できる利点があり、応急手当の際には有効と考える。使い方を記載したリーフレットも合わせて配備してはどうか。

答 総務課長 三重県で実用されている。専門家の意見を聞き配備を検討してみた。



和牛子牛



自動体外式除細動器(AED)

健康意識・ 運動意欲の醸成

町長 身近にあることで

意欲が定着する



すぎもと だいすけ 議員
杉本 大介



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 伯耆町の健康関連事業についてその効果や成果は。

答 町長 公設民営のものや民間事業者が経営されているものなど、運動する場が身近にあることで、体を動かそうという意欲が住民に定着している。

答 健康対策課長 厚生労働省の発表では、平成17年と令和2年とを比較すると、伯耆町の平均寿命、健康寿命は延びている。



フィットネス&スタジオ パル

問 今後の課題は。

答 町長 生活文化の中に健康づくりが根付くのが理想。

答 健康対策課長 運動習慣を持つ人が少なくなっている。また、妊娠中も喫煙している人や、飲酒量が多くなった男性が増えていることが課題。健康寿命の延伸を基本理念にすえて、「第4次伯耆町健康づくり計画」を策定する。

問 教育現場での子どもたちの体力低下対策事業についての成果は。

答 教育長 毎年行われる全国体力運動能力調査で、伯耆町は鳥取県平均、全国平均ともに上回った。

小学校での朝のランニング、長休憩の外遊び、中学校では、運動部の部活動、駅伝練習など、幼児を対象とした子供体力運動能力向上事業、放課後子ども教室での運動指導など、様々な取組と運動指導の積み重ねによる成果と考える。

問 部活動の地域移行によって、部活動をしない生徒が増え、運動の機会が減る懸念がある

答 教育長 他の自治体では部活動を希望性としていて、9割以上の生徒が加入していることから、極端に減少することはないのでないかとみている。だが、これまでと同様に体力低下対策事業に努め、教育

委員会主催のスポーツ大会等で参加を促していきたい。休日の部活動をどうするのかというのも含め、具体的な対策は今後の協議会で検討する。

問 競技スポーツもまた、運動意欲の醸成、地元への誇り、愛着心を生む。さらなる振興につながる展開は。

答 町長 部活動は競技スポーツの入口。プロ選手など競技レベルの高い選手がどんな練習をしているのかを生で見ること、子どもたちも指導者も刺激を受けるし参考になる。競技レベルの高いものを身近に感じる場面を増やしていく努力は、可能な限り検討したい。



競技スポーツによる振興

空き家の利活用する 支援策を

町長 空き家所有者が

対処すべき



うえだ ひろふみ 議員
上田 博文



ユーチューブ
動画は
こちらから

問 全国的に空き家の増加が予想されるなか、「特定空家」になる前の段階で空き家を発生させない防止対策や空き家の利活用を促進する対策の強化が必要でないかと考える。

答 本町の空き家対策の取り組み方針及び取組み状況は。

町長 空き家問題については今後、深刻さを増す重要な課題であるという認識で対応している。

答 総務課長 令和3年においては、管理されていない空き家が90軒あり、うち特定空き家が2軒で、うち1軒は、町の指導後、補助金により撤去した。その後新たに生じた特定空き家も、町の助言、指導で今年、解体予定である。また、相続人、所有者不明の空き家は

4軒である。

問 本町の空き家に対する住民からの相談状況は、また専門家と連携した相談窓口体制の強化を図るべき。



解体が進む特定空き家

答 総務課長 現在の相談状況は令和2年度が18件、令和3年度9件、令和4年度19件の相談があった。

現在、専門的な相談はあまりないが、伯耆町空家対策協議会の構成員である専門家に相談し

対応していきたい。

問 本町の「空き家対策策定計画」では、「空き家バンク」を検討するとなっているがその検討状況は。

答 総務課長 空き家バンクがどの程度効果があるのか積極的に取組んでいる自治体の事例を研究し、実効性があれば実施に向けて検討する。

問 空き家の利活用を図るため、移住定住者への情報提供として、空き家バンクをもっと積極的に検討すべきでないか。

答 町長 自治体は、不動産の仲介ができない。また空き家バンクの情報に齟齬があれば、行政的にリスクを負うこと

になる。

問 空き家対策として、空き家の除去だけでなく移住定住施策の受け皿として空き家の改修や空き家の家財等の処分費などの空き家利活用に対する支援の検討をしないか。

答 町長 空き家に対する家財の処分については、鳥取県の支援制度があるので活用してもらいたい。
空き家の改修については、空き家の所有者が管理責任のもと、一義的に対処すべきである。

※「特定空家」とは

- ・倒壊等著しく保安上危険性のある状態
- ・著しく衛生上有害となる恐れのある状態
- ・管理不足により著しく景観を損なっている状態
- ・周辺住民の生活環境を妨げている状態

にあると認められる空家等をいう

- 「空家等対策の推進に関する特別措置法」により、このような空家を行政が調査し、「特定空家」に認定されたら、空家を改善するよう助言、指導、勧告、命令が出されます。

議会の虫めがね



ALTのミッチェル・キタウラさんにインタビューしました!



ミッチェルさん

アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスから令和5年8月に来日。サンフランシスコに近いレッドウッドシティ生まれ。29歳。独身。大学ではテレビジョン、ムービーを専攻。来日前は家などを写す写真家をしていた、写真関連の会社を立ち上げている。日系5世。先祖が1900年ごろ広島県からアメリカに移住。

現在、どこにお住まいですか。お気に入りの場所はありますか。

溝口に住んでいます。好きな場所はファミリーマートと丸合です。生徒の両親にお会いすると、挨拶してくれます。

趣味特技は何ですか。お休みの日には、どのように過ごされていますか。

趣味は旅行、ドライブ、バスケットボールで、特技は写真を撮ること。休みの日にはドライブ、旅行に行っています。東京、大阪、広島、岡山に行きました。大阪、岡山は車で行きました。大山登山にも行きました。次の日には筋肉痛で荷物を運ぶのも大変で、生徒に手伝ってもらいました。

お仕事について教えてください。

英語の先生の授業に入っ
て、一緒に教えています。イ
ベントなどの用意、飾りつけな
ども行っています。

伯耆町の生徒について、ど
のような印象を持っていま
すか。

生徒は、誰に対しても礼儀
正しく、尊敬して対応してい
ます。これはアメリカではみ
ることができません。そして、
良く勉強しています。ただ、長
期の休みのときも勉強してい
るので、もっと楽しんでいいと
思います。

伯耆町の住民の方が、ミッ
チェルさんの英語を学ぶ機
会がありますか。

月曜日の19時30分から、溝
口公民館で英会話教室を行っ
ています。

ALTや将来の目標など、
今後の予定を教えてください。
さい。

ALTは2年間の予定でい
ます。将来、アメリカに帰って

自分の会社を大きくしたいと
考えています。

伯耆町が発展するためには
どのようなアイデアがあ
りますか。

インスタグラム、フェイス
ブックなどのSNSを利用し
て伯耆町の良いところを、ど
んどん発信
したら良い
と思います
。あと、
列車の時間
が夕方2本
くらいしか
ないので、
もっと増や
したらいい
のでは。



ALTとは

外国語が母語である外国語指導助
手のこと。Assistant Language Teacher
の略称である。

小学校や中学校・高等学校へは、各教
育委員会から配置される。

生徒の英語発音や国際理解教育の向
上を目的として、授業を補助する役割
を担っている。

この制度がスタートして、30年くら
いだが、伯耆町では他市町村に比べ多
くのALTを配置している。

「議会だより」に対するご意見を
お待ちしております。

【編集】
議会広報常任委員会
(杉本 大介)

委員長	片岡 千明
副委員長	大床 桂介
委員	大森 英一
委員	杉本 大介
委員	長谷川 満
委員	上田 博文

編集後記

今号の議会だよりでは、議定会定例会の流れが
伝わるよう、図説ページ
を設けてみました(P2、
P3参照)。これからも、あ
らゆる工夫をして、なるべ
く伝わりやすい広報を心
掛けてまいりますので、機
会がございましたら住民
の皆様方のご意見をいた
だけると幸いです。

さて、昨年の9月、12
月と、町政の発展に大き
く貢献された議員が2
名もおられなくなり、と
ても淋しさを感じるこ
ろではございますが、
残された議員で伯耆町
のため力を尽くしてま
いりますので、引き続き
よろしくお願い申し上
げます。